

課題9：jQuery UI をインストールしよう

jQuery は jQuery UI と呼ばれるユーザーインターフェースも導入することができるようになっています。今回は日付選択インターフェースをインストールして実験してみよう

まず、<http://jquery.com/download/> にアクセスして theme が「UI lightness」になっているのを確認して、「Download」を押します。保存を選択して、名前をつけて保存してください。

ダウンロードしたファイルは ZIP ファイルなので、右クリックして「すべて展開」を行いファイルを展開する。

その中から、今回は3つのファイルだけ、jquery 実験フォルダーにコピーする

- 1：/js フォルダの jquery-ui-1.8.16.custom.min.js
- 2：/css/ui-lightness/images/jquery-ui-1.8.16.custom.css
- 3：/development-bundle/ui/i18n/jquery.ui.datepicker-ja.js

【datepicker.html】

```
<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
<meta charset="UTF-8" />
<title>jQuery UI の基本</title>
<link href="../jquery-ui-1.8.16.custom.css" rel="stylesheet" type="text/css" />
<script type="text/javascript" src="../jquery-1.6.4.min.js"></script>
<script type="text/javascript" src="../jquery-ui-1.8.16.custom.min.js"></script>
<script type="text/javascript" src="../jquery.ui.datepicker-ja.js"></script>
<script type="text/javascript">
$(function () {
    $('#date').datepicker($.datepicker.regional['ja']);
});
</script>
</head>
<body>
<form>
日付：<input type="text" id="date" />
</form>
</body>
</html>
```

jQuery UI には Interractions(マウス操作による対話操作)、Widget(高機能な UI 部品)、Effect(標準アニメーションの拡張)といった機能を提供していますが、今回は Widget の datepicker の日付入力ボックスを使います。

JavaScript の記述は `$.datepicker.regional['ja']` となっていますが、これは日本語のカレンダーを表示下さいという意味です。ドイツ語、フランス語などに変更も可能ですが、その際にはその国の js ファイルをコピーしてください。